

建築改修工事仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																						
<b>I 工事概要</b> 1 工事場所 2 地域地区 ( ) 3 敷地面積 m <sup>2</sup> 4 建物用途 5 棟別概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>建物名称</th> <th>建築種別</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>消防法の区分</th> <th>建築面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>延面積 (m<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td colspan="6">合 計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )	1								2								3								4								5								6								7								合 計								3 環境への配慮 4 特別な材料の工法及び製品 5 電気保安技術者 (1. 3. 3) 6 施工条件 (1. 3. 5) 7 発生材の処理等 (1. 3. 12)	11 技能士の適用 (1. 6. 2) 12 化学物質の濃度測定 (1. 6. 9) 13 工事写真 14 完成図 15 保全に関する資料 (1. 8. 3) 16 関連他工事 17 特定元方事業者の指名	18 施工図及び施工計画書 (1. 2. 2、3) 19 事前調査等 20 撤去部分 21 耐荷重及び耐外力 2 仮設工事 1 騒音・粉じん等の対策 (2. 1. 3) 2 足場等 (2. 2. 1) 3 既存部分の養生 (2. 3. 1)	提出した施工図及び施工計画書の著作に関わる当該建物における 使用権は発注者に委譲するものとする。 大気汚染防止法第18条の17の規定等に基づき、受注者は事前調査を 行うこと実施し、発注者へ書面による説明及び調査結果の揭示を行うこと ・ 図示による 建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 V0 (m/s) ・ 30 ・ 32 (旧益田市、旧匹見町、旧日原町、隠岐郡) ・ 34 (旧津和野町、旧柿木村、旧六日市町) 地表面粗土区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV 積雪荷重 告示第1455号、島根県建築基準法施行細則による 騒音・粉じん等の対策 ・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲 * 工事に必要な範囲 「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年 4月策定)」による。 外部足場 ・ 範囲 ( ) ・ 図示による ・ 設置しない 外部足場の種類 ( ・ 図示による ) 防護シート ・ 範囲 ( ) ・ 図示による ・ 設置しない 内部足場 ・ 範囲 ( ) ・ 図示による ・ 設置しない 内部足場の種類 ( ・ 脚立、足場板等 ・ 枠組足場 ・ 移動式足場 ・ 図示による ) 材料、撤去材等の運搬方法 (表2. 2. 1) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 既存部分の養生方法 ・ ビニルシート ・ 合板 ・ 図示による 既存家具等の養生方法 ・ ビニルシート等による ・ 図示による 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ・ 取り外し ・ 図示による 保管場所 備品等の移動 ・ 図示による
No.	建物名称	建築種別	構造	階数	消防法の区分	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )																																																																						
1																																																																													
2																																																																													
3																																																																													
4																																																																													
5																																																																													
6																																																																													
7																																																																													
合 計																																																																													
<b>II 工事仕様</b> 1 共通事項 (1) 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修「建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版 [平成31年4月改定] 」 (以下「標準仕様書」という) による。ただし、改修標準仕様書に規定されている 項目項目以外は、「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版 [平成31 年4月改定]」 (以下「標準仕様書」という) による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事 はそれぞれの工事仕様書を適用する。 2 特記事項 (1) 章及び項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は ⊙ 印を適用する。 ⊙ 印の無い場合は、* 印のあるものを適用する。 ⊙ 印と ⊕ 印のある場合はともに適用する。 (3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目・図または表を示す。 特記事項に記載の ≪ ≫ 内表示番号は、標準仕様書の当該項目・図または表を示す。		8 交通安全管理 (1. 3. 9) 9 施工数量調査 (1. 5. 2) 10 調査のための破壊部分の補修方法 (1. 5. 3)	産業廃棄物の処理及び再資源化を図るものは下記による <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品目</th> <th>搬出場所</th> <th>距離 (Km)</th> <th>D1D 区分 (有・無)</th> <th>処分費 (有・無)</th> <th>備考 (再資源化の有無等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定建設資材</td> <td>・ コンクリート塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト塊</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特別管理産業廃棄物</td> <td>・ コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>・ 木材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">その他</td> <td>・ 石膏含有吹付け材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石膏含有保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 石膏含有成形板</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ PCB含有建材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 以下のとおり、交通の誘導に係る業務に従事する者を配置すること。 配置する位置は別に図示する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>人・日数</th> <th>交通安全管理の必要な作業等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通誘導員A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通誘導員B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通整理員</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (注) 交通誘導員A、Bは警備業法に定める警備員とし、交通整理員については資格を問わない。 取り扱いは平成19年4月26日付技第26号による 1) 本工事の施工に先立ち、施工数量調査を行う。 2) 施工数量調査後、監督職員に報告書を提出する。 3) 調査結果を考慮し、施工計画を作成する。 調査範囲 ・ 外壁 (庇共) 調査方法 ・ テストハンマーによる打診 報告書の提出部数 * 1部 下記の者に、労働安全衛生法第30条第2項に基づく指名を行う。 ・ 本工事の受注者 ・ 関連他工事の受注者 ( )	項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	D1D 区分 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化の有無等)	特定建設資材	・ コンクリート塊					有	・ アスファルト塊					有	特別管理産業廃棄物	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有	・ 木材					有	その他	・ 石膏含有吹付け材						・ 石膏含有保温材						・ 石膏含有成形板							・ PCB含有建材						名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等	交通誘導員A			交通誘導員B			交通整理員					
項目	品目	搬出場所	距離 (Km)	D1D 区分 (有・無)	処分費 (有・無)	備考 (再資源化の有無等)																																																																							
特定建設資材	・ コンクリート塊					有																																																																							
	・ アスファルト塊					有																																																																							
特別管理産業廃棄物	・ コンクリート及び鉄から成る建設資材					有																																																																							
	・ 木材					有																																																																							
その他	・ 石膏含有吹付け材																																																																												
	・ 石膏含有保温材																																																																												
	・ 石膏含有成形板																																																																												
	・ PCB含有建材																																																																												
名称	人・日数	交通安全管理の必要な作業等																																																																											
交通誘導員A																																																																													
交通誘導員B																																																																													
交通整理員																																																																													
図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者	設計者																																																																							
( )		仕様書1																																																																											





章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																					
5 建具 改修 工事	1 改修工法 (5.1.3)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">改修工法</th> <th colspan="2">適用範囲</th> </tr> <tr> <td>・かぶせ工法</td> <td>・全般</td> <td colspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td>・撤去工法</td> <td>・全般</td> <td colspan="2">・図示による</td> </tr> <tr> <td>・新設工法</td> <td>・図示による</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	改修工法		適用範囲		・かぶせ工法	・全般	・図示による		・撤去工法	・全般	・図示による		・新設工法	・図示による			8 鋼製建具 (5.4.2~3)	<p>鋼製建具の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡易気密型ドアセット</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>耐風圧性(外部に面する場合)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> <td>・W-1</td> <td>・S-4 ・S-5 ・S-6</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>	適用箇所	気密性	水密性	耐風圧性(外部に面する場合)	備考		・A-3	・W-1	・S-4 ・S-5 ・S-6		13 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	<p>自閉式上吊り引戸装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>	19 木製建具 <16.7.2> <16.7.4>	<p>材料</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュ戸</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>表面材の合板の種類</th> <th>普通合板の板面の品質</th> <th>表面板の厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・かまち戸</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>かまち及び鍍板の樹種</th> <th>表面板の厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ふすま</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>上張りの種類</th> <th>枠及びくつずりの材料</th> <th>縁の仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・I形 ・II形</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>形状及び仕上げ</p> <p>各木製建具の見込み寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>	適用箇所	表面材の合板の種類	普通合板の板面の品質	表面板の厚さ(mm)	備考		* 図示による	* 図示による	* 図示による		適用箇所	かまち及び鍍板の樹種	表面板の厚さ	備考		* 図示による	* 図示による		適用箇所	種別	上張りの種類	枠及びくつずりの材料	縁の仕上げ	備考		・I形 ・II形	* 図示による	* 図示による	* 図示による	
	改修工法		適用範囲																																																													
	・かぶせ工法	・全般	・図示による																																																													
	・撤去工法	・全般	・図示による																																																													
	・新設工法	・図示による																																																														
	適用箇所	気密性	水密性	耐風圧性(外部に面する場合)	備考																																																											
		・A-3	・W-1	・S-4 ・S-5 ・S-6																																																												
適用箇所	表面材の合板の種類	普通合板の板面の品質	表面板の厚さ(mm)	備考																																																												
	* 図示による	* 図示による	* 図示による																																																													
適用箇所	かまち及び鍍板の樹種	表面板の厚さ	備考																																																													
	* 図示による	* 図示による																																																														
適用箇所	種別	上張りの種類	枠及びくつずりの材料	縁の仕上げ	備考																																																											
	・I形 ・II形	* 図示による	* 図示による	* 図示による																																																												
2 防火戸 (5.1.4)	<p>防火戸の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> </ul> <p>防火戸の連動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒューズ装置</li> <li>・熱感知器</li> <li>・煙感知器</li> <li>・図示による</li> </ul>	9 鋼製軽量建具 (5.5.2~3)	<p>鋼製軽量建具の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>簡易気密型ドアセット</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>気密性</th> <th>遮音性、断熱性、耐震性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A-3</td> <td>* 図示による</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料</p> <p>鋼板類の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>召合せ、縦小口包み板等の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼板</li> <li>・ステンレス鋼板</li> <li>・アルミニウム合金押出成形材</li> </ul> <p>形状及び仕上げ</p> <p>鋼板類の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>	適用箇所	気密性	遮音性、断熱性、耐震性	備考		・A-3	* 図示による		14 重量シャッター (5.10.2)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>シャッターの種類</th> <th>開閉方式</th> <th>鋼板の種類</th> <th>めっき付着量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></td> <td>・上部電動式 (手動併用)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・屋内用防火シャッター</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防煙シャッター</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>保護装置</p> <p>二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>障害物感知装置の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>危害防止機構の設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置する(設置箇所は図示による)</li> <li>・設置しない</li> </ul>	適用箇所	シャッターの種類	開閉方式	鋼板の種類	めっき付着量	備考		・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・上部電動式 (手動併用)	・	・			・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>	・	・	・			・屋内用防火シャッター	・	・	・			・防煙シャッター	・	・	・		15 軽量シャッター (5.11.2~4)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形							
適用箇所	気密性		遮音性、断熱性、耐震性	備考																																																												
	・A-3		* 図示による																																																													
適用箇所	シャッターの種類		開閉方式	鋼板の種類	めっき付着量	備考																																																										
	・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>		・上部電動式 (手動併用)	・	・																																																											
	・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>		・	・	・																																																											
	・屋内用防火シャッター		・	・	・																																																											
	・防煙シャッター	・	・	・																																																												
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状																																																											
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
3 見本の製作等 (5.1.5)	<p>建具見本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作しない</li> <li>・製作する(適用箇所は図示による)</li> </ul> <p>特殊な建具の仮組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行わない</li> <li>・行う</li> </ul>	10 ステンレス製建具 (5.6.2~5)	<p>一般事項</p> <p>既製金物又はこれに準ずる金物のうち機能上必要な最小限のもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造所の仕様による</li> </ul> <p>材質、形状および寸法</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> <li>・表16.8.1による</li> </ul> <p>金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> <li>・表16.8.2による</li> </ul> <p>樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> <li>・表16.8.3による</li> </ul> <p>木製建具用の丁番の枚数及び大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> <li>・表16.8.4による</li> </ul> <p>木製建具用の戸車及びレール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による</li> <li>・表16.8.5による</li> </ul> <p>取付け施工</p> <p>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> <li>・表</li> </ul> <p>鍵</p> <p>マスターキー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作する(本)</li> <li>・製作しない</li> </ul> <p>鍵の製作本数等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3本1組(本)</li> </ul> <p>鍵箱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設ける(個用)</li> <li>・設けない</li> </ul>	16 オーバーヘッドドア (5.12.2)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>セクション材料</th> <th>耐風圧性能</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ</td> <td>・図示による</td> <td>・バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形</td> <td>・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板</td> <td></td> </tr> </table>	適用箇所	セクション材料	耐風圧性能	開閉方式	収納形式	ガイドレール	備考		・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ	・図示による	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板																																														
適用箇所	セクション材料		耐風圧性能		開閉方式	収納形式	ガイドレール	備考																																																								
	・スチール タイプ ・アルミニウム タイプ ・ファイバー グラスタイプ		・図示による		・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形	・溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス 鋼板																																																									
4 防犯建物部品 (5.1.7)	適用する(適用箇所は図示による)		11 建具用金物 (5.7.2)		<p>自動ドア開閉装置の性能値</p> <p>駆動装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置の性能値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>検出装置の性能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>機構</p> <p>戸の開閉方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>引き戸用検出装置の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光線(反射)</li> <li>・音波</li> <li>・電波</li> <li>・熱線</li> <li>・タッチ</li> <li>・押しボタン</li> </ul> <p>凍結防止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>	17 ガラス (5.13.2~4)	<p>材料</p> <p>ガラスの品種・性能・厚さは図示による</p> <p>ガラス留め材(防火戸を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーリング材</li> <li>・ガスケット</li> <li>(グレイジングチャンネル形・グレイジングビード形)</li> </ul> <p>板ガラスをはめ込む溝の大きさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 製造所の仕様による</li> </ul> <p>工法</p> <p>熱線反射ガラスの映像調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>・行わない</li> </ul>																																																									
5 アルミニウム製建具 (5.2.2)	<p>アルミニウム製建具の性能値等</p> <p>(表16.2.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に面する建具の種別(コンクリート及び鉄骨下地)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に面する建具の種別(木下地)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種 ・E種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>アルミニウムの表面処理</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>標準色・特注色の別</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>結露水の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul> <p>水切り板、ぜん板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 図示による</li> </ul>				適用箇所		種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・A種 ・B種 ・C種				・図示による	・図示による	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・D種 ・E種				・図示による	・図示による	18 ガラスブロック積み (5.13.5)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																	
適用箇所	種別				耐風圧性		気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																						
	・A種 ・B種 ・C種								・図示による	・図示による																																																						
適用箇所	種別	耐風圧性		気密性	水密性		遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																								
	・D種 ・E種						・図示による	・図示による																																																								
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度		スラットの材質	めっき付着量		スラットの形状																																																									
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
6 網戸 (5.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>・ステンレス(SUS304)線材</td> <td>・1.5mm</td> <td>・15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製			・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	・1.5mm	・15mm	12 自動ドア開閉装置 (5.8.3)	<table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>開閉方式</th> <th>耐風圧強度</th> <th>スラットの材質</th> <th>めっき付着量</th> <th>スラットの形状</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・上部電動式 ・手動式</td> <td>* 図示による</td> <td>・鋼板 ・アルミニウム</td> <td>・</td> <td>・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形</td> </tr> </table>	適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状		・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																					
種類	材質	線径	網目																																																													
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製																																																															
・防鳥網	・ステンレス(SUS304)線材	・1.5mm	・15mm																																																													
適用箇所	開閉方式	耐風圧強度	スラットの材質	めっき付着量	スラットの形状																																																											
	・上部電動式 ・手動式	* 図示による	・鋼板 ・アルミニウム	・	・インター ロッキング形 ・オーバー ラッピング形																																																											
7 樹脂製建具 (5.3.2)	<p>樹脂製建具の性能値等</p> <p>(表16.3.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に面する建具の種別(コンクリート及び鉄骨下地)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・A種 ・B種 ・C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に面する建具の種別(木下地)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>遮音性 断熱性 耐震性</th> <th>枠の見込み寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種 ・E種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>表面色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準色</li> <li>・特注色</li> </ul> <p>ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表による</li> </ul>	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・A種 ・B種 ・C種					・図示による	・図示による	適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法		・D種 ・E種				・図示による	・図示による	19 付属電気設備	<p>電動シャッター、電動オーバーヘッドドア、自動ドア等に付属する電気設備の施工範囲は下記による。</p> <p>一次側電源供給 * 別途工事 ・ 本工事</p> <p>二次側配管配線器具取付 * 本工事 ・ 別途工事</p> <p>0.4kW以上の三相電動機には、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサを設置する。</p>																																
適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																										
	・A種 ・B種 ・C種				・図示による	・図示による																																																										
適用箇所	種別	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性 断熱性 耐震性	枠の見込み寸法																																																										
	・D種 ・E種				・図示による	・図示による																																																										
6 内装 改修 工事	1 他の部位との取合等 (6.1.3)	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁及び床の改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁厚程度</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のまま</li> <li>・図示による</li> </ul> <p>天井内の既存壁の撤去に伴い当該壁の取り合う天井の改修範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存仕上げ</li> <li>・図示による</li> </ul>																																																														
2 既存床の撤去並びに 下地補修 (6.2.2)	<p>ビニル床シートの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕上材のみ(接着剤とも)</li> <li>・下地モルタルとも(図示による)</li> <li>・撤去範囲全て)</li> </ul> <p>合成樹脂塗床材の除去等の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械的除去工法</li> <li>・目荒し工法</li> </ul> <p>改修後の床の清掃範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修部の端部より1m程度</li> <li>・図示による</li> </ul>																																																															
3 既存壁の撤去並びに 下地補修 (6.3.2)	<p>間仕切壁撤去に伴う他構造の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・4.4.9によるモルタル塗り</li> <li>(仕上げ厚又は全塗厚25mmを越える場合の処置)</li> <li>・図示による</li> </ul>																																																															
4 表面仕上げ (6.5.1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械加工</li> </ul> <p>機械加工の場合の仕上げの程度</p> <p>(表6.5.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・C種</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手加工</li> </ul> <p>手加工の場合の仕上げの程度</p> <p>(表6.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">適用箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・H-C種</td> </tr> </table>	適用箇所		種別			・A種			・B種			・C種	適用箇所		種別			・H-A種			・H-B種			・H-C種																																							
適用箇所		種別																																																														
		・A種																																																														
		・B種																																																														
		・C種																																																														
適用箇所		種別																																																														
		・H-A種																																																														
		・H-B種																																																														
		・H-C種																																																														
19 付属電気設備	1 他																																																															

図面番号	工事名	図面種別	縮尺	設計・年月	担当者
( )		仕様書4			設計者







章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																												
8	既製コンクリート及び鋼杭地業 (8.28.4)	* 工法 ( )	杭の種類種類	* 図示による			<p>分析方法</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="2">分析方法 (定性)</th> <th colspan="2">分析方法 (定量)</th> </tr> <tr> <td>JIS A 1481-1</td> <td>又は</td> <td>JIS A 1481-3</td> <td>又は</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JIS A 1481-2</td> <td></td> <td>JIS A 1481-4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと</p> <p>石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各適用箇所ごと)</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点2</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点3</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点4</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点5</td> <td>負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)</td> <td>1m/sec以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点6</td> <td rowspan="2">処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>*</td> <td>測点7</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測点9</td> <td>1週間以降)</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・ 自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>・ 測定5</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ( )</td> <td>粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <p>・ JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (l/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>・ 測定4</td> <td>・ 測定5</td> <td>2.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ( )</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ( )</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ( )</td> <td></td> <td>4.7</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>施工業者 ・ 「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」の証明を有する工法の施工業者</p> <p>石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 改修9.1.3(2)(ア)による ・ 飛散防止 * 密封処理 ( * 湿潤化 ・ セメント固化 )</p> <p>石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 * 図示による 除去工法 * 原形のまま、手ばらし ・ 粉砕して除去 飛散防止 * 密封処理 ( * 湿潤化 ・ セメント固化 )</p>	材料名	分析方法 (定性)		分析方法 (定量)		JIS A 1481-1	又は	JIS A 1481-3	又は		JIS A 1481-2		JIS A 1481-4			箇所		箇所			箇所		箇所			箇所		箇所		適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各適用箇所ごと)	・	測点1	処理作業前	処理作業室内	計 点	・	測点2	処理作業中	調査対象室外部の付近	計 点	・	測点3	処理作業室内	計 点	*	測点4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	計 点	*	測点5	負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)	1m/sec以下の位置 計 点	*	測点6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)	計 点	*	測点7	処理作業室内	計 点	・	測点8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点	・	測点9	1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法	・ 測定4	・ 測定5	・ 測定 ( )	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)	・ 測定4	・ 測定5	2.5	5	・ 測定 ( )		4.7	1.0	・ 測定 ( )		4.7	1.0	・ 測定 ( )		4.7	2.4	・ 測定 ( )				杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	9 場所打ちコンクリート杭地業 (8.28.4)	* 工法 ( ) 支持層の位置及び土質等は図示による コンクリート 種別 ・ A種 ・ B種 (表4.5.1) 設計基準強度 N/mm <sup>2</sup> 構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し ・ 行う (・ 3N/mm <sup>2</sup> ・ ) * 行わない 杭の精度 水平方向の位置ずれ * 構造図による ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 (建学標仕JASS4) (注) 杭の施工誤差による偏心については施工後、監督職員に報告し、構造計算上の安全確認を行うこと。	10 砂利地業 (8.28.4)	材 料 * 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 厚 さ * 図示による	11 捨てコンクリート地業 (8.28.4)	範囲及び厚さ * 図示による	12 床下防湿層	施工範囲は図示による。	13 その他の地業	・ 地盤改良 工 法 * 工法 ( ) 詳細は図示による  セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の試験 ・ 六価クロム溶出試験 配合設計段階 検体 施工後段階 検体 ・ タンクリーチング試験	2 外断熱改修工事 (9.3.2~4)	断熱材の種類及び厚さ ・ 断熱材打込み工法	10 その他改修工事	1 フリーアクセスフロア <20.2.2>	材料構法等 適用箇所 * 図示による	2 可動間仕切 <20.2.3>	適用箇所 * 図示による	3 ガラス改修工事 (9.4.2)	材料 ガラスの品種・性能・厚さ等は図示による ガラス留め材 (防火戸を除く) ・ シーリング材 ・ ガスケット ( ・ グレージングチャンネル形 ・ グレージングビード形) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ * 製造所の仕様による  工法 熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う ・ 行わない	3 表 示 <20.2.10>	適用箇所 * 図示による	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~3)	断熱材の種類及び厚さ ・ 断熱材打込み工法	4 ブラインド <20.2.12>	使用箇所 形 式 スラットの材質 開閉方式 スラットの幅 (mm)	5 屋上緑化 (9.6.1~4)	屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 * 図示による 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 * 図示による かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ ) 既存保護層等の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した樹木等の枯補償期間 * 引渡しの日から1年間	5 ロールスクリーン <20.2.13>	適用箇所 操作方式 材 質 製造所等 幅・高さ 備 考	6 カーテン及びカーテンレール <20.2.14>	・ カーテン	7 点 検 口	適用箇所 寸法 (mm) 材 質 形 状 備 考	8 階段及び廊下手すり	参考品番 ( ) 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・	9 補助手すり	規格 ・ 標準詳細図による ・ 一般品 (参考品番 ) 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・
			材料名	分析方法 (定性)		分析方法 (定量)																																																																																																																																																	
				JIS A 1481-1	又は	JIS A 1481-3		又は																																																																																																																																															
				JIS A 1481-2		JIS A 1481-4																																																																																																																																																	
				箇所		箇所																																																																																																																																																	
				箇所		箇所																																																																																																																																																	
				箇所		箇所																																																																																																																																																	
			適用	測定名称	測定時期	測定場所		測定点 (各適用箇所ごと)																																																																																																																																															
			・	測点1	処理作業前	処理作業室内		計 点																																																																																																																																															
			・	測点2	処理作業中	調査対象室外部の付近		計 点																																																																																																																																															
			・	測点3		処理作業室内		計 点																																																																																																																																															
			*	測点4	処理作業中	セキュリティゾーン入口		計 点																																																																																																																																															
			*	測点5		負圧・除塵装置の排出口吹出し風速吹出し口 (処理作業室外の場合)		1m/sec以下の位置 計 点																																																																																																																																															
*	測点6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外 (・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界)	計 点																																																																																																																																																			
*	測点7		処理作業室内	計 点																																																																																																																																																			
・	測点8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																			
・	測点9	1週間以降)	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																			
測定名称	測定方法																																																																																																																																																						
・ 測定4	・ 測定5																																																																																																																																																						
・ 測定 ( )	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																						
測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																				
・ 測定4	・ 測定5	2.5	5																																																																																																																																																				
・ 測定 ( )		4.7	1.0																																																																																																																																																				
・ 測定 ( )		4.7	1.0																																																																																																																																																				
・ 測定 ( )		4.7	2.4																																																																																																																																																				
・ 測定 ( )																																																																																																																																																							
9	環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の処理工事 (9.1.1~5)	施工調査 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲 ( * 図示による ) 貸与資料 ( ) 既往分析調査 ・ あり ・ なし 分析による石綿含有建材の調査 ・ 行う (対象は図示による) ・ 行わない	2 外断熱改修工事 (9.3.2~4)	断熱材の種類及び厚さ ・ 断熱材打込み工法	10 その他改修工事	1 フリーアクセスフロア <20.2.2>	材料構法等 適用箇所 * 図示による	2 可動間仕切 <20.2.3>	適用箇所 * 図示による	3 ガラス改修工事 (9.4.2)	材料 ガラスの品種・性能・厚さ等は図示による ガラス留め材 (防火戸を除く) ・ シーリング材 ・ ガスケット ( ・ グレージングチャンネル形 ・ グレージングビード形) 板ガラスをはめ込む溝の大きさ * 製造所の仕様による  工法 熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う ・ 行わない	3 表 示 <20.2.10>	適用箇所 * 図示による	4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~3)	断熱材の種類及び厚さ ・ 断熱材打込み工法	4 ブラインド <20.2.12>	使用箇所 形 式 スラットの材質 開閉方式 スラットの幅 (mm)	5 ロールスクリーン <20.2.13>	適用箇所 操作方式 材 質 製造所等 幅・高さ 備 考	6 カーテン及びカーテンレール <20.2.14>	・ カーテン	7 点 検 口	適用箇所 寸法 (mm) 材 質 形 状 備 考	8 階段及び廊下手すり	参考品番 ( ) 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・	9 補助手すり	規格 ・ 標準詳細図による ・ 一般品 (参考品番 ) 握り部材質 ・ 握り部径 (mm) ・																																																																																																																											
図面番号	工 事 名						図面種別	縮 尺	設計・年月	担 当 者						設計者																																																																																																																																							
( )							仕様書 8																																																																																																																																																